

2018年度

公益社団法人日本雪氷学会北海道支部
研究発表会

プログラム



日時	2018年5月11日(金) 13:00 ~ 17:00
	2018年5月12日(土) 9:00 ~ 17:00
会場	北海道大学 学術交流会館 第1会議室

発表プログラム(一題 15 分, 発表 12 分・質疑 3 分) 5 月 11 日(金)

13:00-13:15	支部長あいさつ・2017 年度北海道雪氷賞(北の風花賞・北の六華賞・北の蛍雪賞)表彰式	支部長・北海道雪氷賞選考委員長
-------------	---	-----------------

Session I 13:15-14:30 座長: 櫻井俊光(寒地土木研究所)

13:15-13:30	南極ラングホブデ氷河における熱水掘削	杉山慎(北海道大学低温科学研究所)他
13:30-13:45	アウトドア寒冷地防災学から「冬季大規模災害時の避難生活を想定した防災冬キャンプの知識、技術、装備を明らかにする」	藤澤誠(NPO 北海道防災教育研究センター赤鼻塾)
13:45-14:00	積雪比表面積の測定 ―スラッシュ粒子の測定例―	八久保晶弘(北見工業大学)他
14:00-14:15	北西グリーンランド・SIGMA-A アイスコアの近赤外光反射率測定	安藤卓人(北海道大学北極域研究センター)他
14:15-14:30	カーリング・ストーンはなぜ曲がるか? 新理論:エッジ・モデル	前野紀一(北海道大学名誉教授)

Session II 14:45-15:45 座長: 的場澄人(北海道大学低温科学研究所)

14:45-15:00	2017 年グリーンランド北西部カナック氷帽における融雪前の積雪特性と標高別のダストフラックス	羽月稜(北海道大学環境科学院)他
15:00-15:15	メタン・エタン系混合ガスハイドレートのエタン水素同位体分別の結晶構造依存性	松田純平(北見工業大学)他
15:15-15:30	レーザー誘起表面ナノ周期構造を利用した道路構造物における落雪対策に関する研究	櫻井俊光(国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所)他
15:30-15:45	水素安定同位体の異なるメタンを包接するハイドレートの相図	菊池優樹(北見工業大学)他

Session III 16:00-17:00 座長: 八久保晶弘(北見工大)

16:00-16:15	航空レーザ測量を用いた山間部における樹木と積雪深との関係に関する一考察	西原照雅(国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所)他
16:15-16:30	2017 年度冬期の札幌市における転倒による救急搬送者の動向	永田泰浩((一社)北海道開発技術センター)他
16:30-16:45	百畳敷洞窟における洞内地形および地質と氷筍生成状況の関係	木富正裕(北海道大学)他
16:45-17:00	2016 年 12 月にグリーンランド北西部カナック村で生じた海水流出事故と漁業被害 ―グリーンランド北西部における社会・自然環境と生業の変化―	的場澄人(北海道大学低温科学研究所)他

17:00	事務局からの諸連絡	
-------	-----------	--

1 日目終了後、懇親会を予定しています。振るってご参加ください。

発表プログラム(一題 15 分, 発表 12 分・質疑 3 分) 5 月 12 日(土)

SessionIV 9:00—10:15 座長: 千葉隆弘(北海道科学大学)

9:00- 9:15	「雪の結晶は二つと同じものがない」のはなぜか?	油川英明(NPO 法人 雪氷ネットワーク)
9:15- 9:30	樹木の栄養繁殖による氷河期の乗り切り——特に伏条繁殖について	斎藤新一郎((一社)北海道開発技術センター)
9:30- 9:45	数値気象モデルによる降雪粒子予測の高度化	橋本明弘(気象研究所)
9:45-10:00	北海道北見で実施した積雪断面観測および冬季気象観測(2017—2018)	白川龍生(北見工業大学)他
10:00-10:15	雪崩の発生機構の教材開発—弱層モデルと摩擦モデル—	堀尾沙希(北海道教育大学札幌校)他

SessionV 10:30—11:45 座長: 白川龍生(北見工業大学)

10:30-10:45	南極ラングホブデ氷河における棚氷下の海洋環境	山根志織(北海道大学環境科学院)他
10:45-11:00	片切土における吹きだまりの発達過程と吹雪量の関係—2017 年度冬期における弟子屈町での観測事例—	武知洋太(国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所)他
11:00-11:15	風洞型表面霜作製装置の開発—大粒径の人工表面霜—	藤田恭輔(北海道教育大学札幌校)他
11:15-11:30	空撮画像を用いた写真測量による屋根上積雪深の測定精度～機体の種類および画像枚数と測定精度との関係～	千葉隆弘(北海道科学大学)
11:30-11:45	2017 年グリーンランド北西部(SIGMA-A サイト)におけるアイスコアの水安定同位体分析	黒崎豊(北海道大学環境科学院)他

SessionVI 13:00—14:00 座長: 細川和彦(北海道科学大学)

13:00-13:15	雪庇・冠雪、巻き垂れについて	竹内政夫(NPO 法人 雪氷ネットワーク)他
13:15-13:30	雪氷被害を軽減するための森林施業方法	鳥田宏行(北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場道南支場)
13:30-13:45	ドローンを用いた多視点ステレオ写真測量による氷厚分布の推定に関する研究	照井雄大(北見工業大学大学院)他
13:45-14:00	積雪の近赤外拡散反射スペクトルに及ぼす積雪試料容器と密度の影響	原田康浩(北見工業大学)他

SessionVII 14:15ー15:15 座長：大廣智則(株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道)

14:15-14:30	南パタゴニア氷原 Pio XI 氷河の表面流動速度分布	波多俊太郎(北海道大学環境科学院)他
14:30-14:45	力学的ダウンスケーリングに基づく吹雪の発生可能性の事例解析	丹治星河(北海道大学理学院気象学研究室)
14:45-15:00	グリーンランド北西部 Bowdoin 氷河における末端位置の変動と海底地形の関係	浅地泉(北海道大学環境科学院)他
15:00-15:15	道路施設からの落雪危険防止について ～三角格子フェンスによる落雪防止効果の検討～	細川和彦(北海道科学大学)他

SessionVIII 15:30ー16:30 座長：尾関俊浩(北海道教育大学・札幌校)

15:30-15:45	衛星リモートセンシングによる北極海航路上の海水と船舶の航行事例の関係性	奥田駿(北見工業大学大学院)他
15:45-16:00	グリーンランド南東ドームアイスコアの近赤外反射率測定	柴田麻衣(北海道大学環境科学院)他、
16:00-16:15	ACM 型腐食センサを用いた車載式塩分濃度計の検討	大廣智則(株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道)他
16:15-16:30	2018 年 3 月野塚トンネル湿雪雪崩の概要	石本敬志(一般財団法人日本気象協会北海道支社)

16:30-	諸連絡・閉会	
--------	--------	--

共同発表の氏名欄は発表者(筆頭著者)のみを記載

